

第 1 課 紹介

第 1 課 Step1 私の友だち

私の友だちは私より 1 年早く会社に入った先輩である。しかし私たちは年が同じなので友だちになることにした。名前はイ・キョンアと言う。

キョンアは私が会社に入った際、会社の仕事(業務)はもちろん、多くのことを教えてくれた。顔も小さく肌も綺麗なキョンアは、いつも綺麗に化粧をしているので、私は化粧がうまいキョンアが羨ましかった。キョンアはちょっと内向的であるが、仕事も上手にできて良く気が利くので、皆に褒められるし、人気もある。

いつか会社の仕事が終わった後、同僚たちと一緒に夕ご飯を食べてからカラオケに行った。その日私たちは新しいキョンアを見た。内向的で口数も少ないキョンアが、マイクを握る瞬間、歌手に変わった。私たちは皆びっくりしたが、すぐ手拍子も打ち、一緒に歌いながら楽しい時間を過ごした。今も私たちはその時のことをたまに話し合う。

キョンアは歌、旅行など、趣味も多い。いつも同じ生活をしている私に比べるとキョンアはとても楽しく生きている。今度の休暇のとき、キョンアと共に東京へ旅行に行くことにした。キョンアは東京が二回目だけど、私は初めてである。もう楽しみにしている。早くその日が来たらいいと思う。

第 1 課 Step 2 ルームメイト

みゆき：ジュンスさん、キョンホさんに聞いたが、ルームメイトは見つかりましたか。

ジュンス：はい、部屋が大きいので人と一緒に使ってもいいような気がして。

みゆき：私の知り合いの中で、部屋を探している人がいるのですが、紹介しましょうか？

ジュンス：どんな人ですか。

みゆき：私の後輩なんです。性格もいいし、さっぱりしている性質なので掃除はうまくできると思いますよ。

ジュンス：では、その人は掃除して私が料理したらいいでしょうね。私は料理するのが好きなんです。

みゆき：本当ですか。では、いつご紹介しましょうか。

ジュンス：土曜日の 3 時ごろはどうですか。

みゆき：私はいいいんですが、後輩に連絡してみてからお電話しますね。

第 2 課 道の案内

第 2 課 Step 1 韓国民族村

韓国民族村は京畿道(キョンギド)龍仁市(ヨンインシ)にある民族博物館です。朝鮮時代 500 年間の生活を見て体験することができるので、外国人はもちろん、韓国人も一回は行ってみる価値がある有名な観光地です。

韓国民族村では昔の人々の生活様子を見ることができ、市場ではいろんな食べ物や生活用品を売っているので、誰でも楽しく楽しめる所です。

ソウルからの行き方は直行バスや電車を利用した方がいいです。直行バスは普通 1 時間 30 分くらいかかるし、電車は 1 号線の水原(スウォン)行きに乗って水原駅で降り、民族村で運行している無料のシャトルバスを利用した方がいいです。

シャトルバスは水原駅 4 番出口から出て少し歩いて行くと、総合観光案内所があるんですが、そちらで無料の乗車券を受け取ってシャトルバスに乗ったら民族村まで約 30 分くらいかかります。

韓国の伝統文化を体験してから帰ってくる途中で、家族皆でたっぷり食べられそうな料理として水原の有名な水原カルビをお勧めします。

第 2 課 Step 2 どうやって行きますか。

シマ：あの、一つお聞きしたいんですが、この近くにおいしい冷麺の店がありますか。

案内：はい、ホテルの右側の道をまっすぐ行く途中で、横断報道を渡って右側に行ってください。

少し歩いていくと、「ウリ冷麺」という看板が見えます。

シマ：あ！そこですか？夕べ寄ってたんですが、人が多くてそのまま出て来ました。やっぱりおいしい

店ですよ。ぜひ行ってみます。そして三清洞(サムチョンドン)カフェ街はどうやって行きますか。

案内：ここから 4 号線に乗っていく途中で忠武路(チュンムロ)で 3 号線に乗りかえて、安国(アングク)駅で降りてください。それから 1 番出口へ出て、歩いて行かれた方がいいです。

シマ：けっこう歩きますか。

案内：はい、しかし素敵なカフェやかわいい店がたくさんある所なので、歩いている途中で疲れたらお茶も飲み、ショッピングもなさることができます。

シマ：そうですか。もしかして地下鉄路線図とソウル観光案内図もありますか。

案内：はい、ここにあります。道がちょっと複雑なのでお探しになってる途中で分かりにならなかつたら人々に聞いてみてください。

第3課 旅行

第3課 Step 1 ソウル旅行

今日はソウル旅行の二日目、私たちはまず光化門(クァンファムン)広場に行った。光化門広場はドラマによく出てくる所だからぜひ来てみたかった。広場の噴水台には人がたくさんいた。私は友だちと世宗(セジョン)大王の銅像の前で写真を撮り、広場を歩きながら私が見たドラマの場面などを考えた。

次は仁寺洞(インサドン)に行った。仁寺洞ではランチを食べて、友達とハンボック(韓服：チマチョゴリ)を着て写真を撮った。そちらのおばさんたちが私にハンボックがよく似合うと褒めてくれた。私はちょっと恥ずかしくてぎこちなかったけど、後で写真を見ると本当によく似合っているようだった。友達もとても綺麗だった。私たちは仁寺洞を見物して明洞(ミョンドン)に行った。

明洞は来るたびに買いたい物が多い。私は化粧品を買った。土曜日なので明洞はもっと活気があった。友だちは洋服も買って、路上で売っているアクセサリーも買った。私たちはショッピングをするついでに友だちと家族にあげるプレゼントもいくつか買った。夕ご飯を食べてから南山(ナムサン)にあるNソウルタワーへ行った。

ソウルの夜景は本当に素晴らしかった。そして恋人たちがかけておいた数十万個の愛の鍵がとても印象的であった。ソウルタワーに来たついでに展望台も登りたかったが、時間が遅すぎてそのまま降りてきた。

私たちは明日日本へ戻っていく。ソウルは韓国の過去と現在を共に感じるできるので良い。次回はもうちょっとゆっくりソウルを見物したい。

第3課 Step 2 箱根旅行

美奈子：ユンスさん、家族旅行はどうでしたか。

ユンス：本当に楽しかったんです。箱根は電車や船のように乗り物が多くて、子どもたちがとても喜んでいました。

美奈子：そうです。特に大涌谷のロープウェイはすべての観光客が皆好みます。

ユンス：はい、僕の妻は大涌谷の硫黄渓谷を見て、怖くて危うく叫ぶところだったそうです。

美奈子：そうだったんですか。箱根は東京から近くて火山地域で有名な所です。今も山から温かい水が流れているでしょう。

ユンス：はい、うちの子たちが黒い玉子を食べてから降りてくる途中でその水を見て、ソルロンタンの汁だと言ったので皆笑いました。

美奈子：ハハハ！ユンスさんの子どもたち、本当に面白いですね。旅行は新しい経験ができるので子どもたちにはもったいいと思います。

ユンス：私は疲れて死にそうだったけど、子どもたちはまた行きたいって言ってます。

第4課 ショッピング

第4課 Step 1 ショッピング

「買い物に行く」という言葉がある。これは市場に物を買に行くという意味である。市場の長所は値段が安いということである。市場は漢方薬材や肉、魚だけ売っている専門の市場もあるし、食べ物横丁と生活に必要な品物を売っている市場もある。市場は毎日買い物をする人々で活気が溢れる。

プレゼントを買う時や品質がいい商品を買いたい時にはデパートを利用する人が多い。デパートは品物の品質はいいが、値段が高いと思うかもしれない。しかし、セール期間を利用したら良い物を手ごろな価格で買うこともできる。

大型ショッピングモールはショッピングセンターと映画館、大型マート、レストランが一つの建物にあるのでショッピングはもちろん、文化と外食を家族皆が楽しむことができる所である。家族と一緒にどこに行けばいいのかわからない時は、大型ショッピングモールで休日を楽しむのもいい。

ショッピングしに外に出かけないで、家で電話やインターネットで物を注文することができるため、最近、ホームショッピングを楽しむ人々が段々と増えている。ホームショッピングでは各種生活必需品はもちろん、旅行に行かなくても全国各地の有名な特産品を家まで届けてくれるのでとても便利である。

第4課 Step 2 洋服の店で

サンファン：これ、他の色はありませんか。

店員：その色もよくお似合いなんですけど、他の色をお見せしましょうか。

サンファン：あ、僕じゃなく、弟にプレゼントしようとするので。

店員：そうでいらっしゃいますか。では、最近の若者たちにとっても人気のある商品をお見せするので、

ちょっとだけお待ちになってくださいませ。

サンフン：(暫くの後)一回着てみてもいいですか。弟とサイズが同じなんです。

店員：あ、はい、こちらで着てみてください。

(暫くの後)お客様、いかがですか。お気に入りですか。

サンフン：そうですね… よく合っているようですが…、どうですか。

店員：よくお似合いです。ズボンの長さも減らさなくていいと思います。

サンフン：僕は気に入りますが、弟が好きだろうか分かりませんね。

店員：お気に入らないと言われたら、交換や払い戻しも可能です。

サンフン：交換や払い戻しはいつまでにすればいいですか。

店員：一週間内にレシートをお持ちになったらいいです。

第5課 趣味

第5課 Step 1 私の趣味

私の趣味は写真を撮ることである。私が写真を撮り始めたのは高校の時である。友だちと写真部に入ったのが今の趣味になった。

週末には遠い所まで写真を撮りに行く。今まで韓国はもちろん、外国のいろんな所を回りながら写真を撮った。3年前には気に入る写真を選んでブログに載せた。多くの人々が写真を見てよい文章(コメント)をいっぱい載せてくれた。うちの会社の同僚たちも私に写真の撮り方を学びたいと言った。最初は何人かの同僚たちだけに教えてあげたり、一緒に写真を撮りに旅行に行ったりもいたんだけど、今はその人数が20人を超える大きな部活になった。会社でも積極的に支援してくれて、去年から1年に一回ずつ社内の写真発表会も開く。私は今年の初めに、良い写真を集めてから初めて写真集を出した。ブログにはもっと多くのコメントが載ってきたし、写真集を購入してくれる人もいた。

最近、私は会社の仕事はもちろん、趣味を生かしているいろんなことをやっているため、とても忙しい。しかし、少しも大変だとは思わない。なぜならば、私が一番好きなことなので、むしろ一日一日がとても幸せである。

第5課 Step 2 趣味の話し

ウンヒョク：春奈さん、最近もヨガなさいますか。

春奈：もちろんです。一生懸命に通っていますよ。

ウンヒョク：ヨガを学びながら変わった点がありますか。

春奈：だいぶ変わりましたね。最初はただダイエットしようと思って始めたんですが、身体がとても良くなりました。ストレスも解消されるので気も楽になるし、生活するのが楽しくなりました。頑張っ
てやって後でヨガの先生になるのが私の夢です。

ウンヒョク：そうですね。私は趣味がないので趣味生活をする人が羨ましいです。

春奈：ウンヒョクさんは動物が好きじゃないですか。動物を一回飼ってみたいかがですか。

ウンヒョク：動物を飼うのは責任が必要なので容易く始めにくいです。春奈さんのお話を聞いたら
ヨガもやりたくなりますね。

春奈：では一回やってみてください。うちの教室に男性もいます。夫婦と一緒に出られる方もいらっ
しゃるし、教室の雰囲気もとてもいいですよ。

ウンヒョク：そうですね。登録する前に見学できますか。

春奈：もちろんです。無料体験もあるので、いつか私と一緒に行きましょうね。

第6課 呼び捨て表現(パンマル)

第6課 Step 1 手紙

美穂へ、

お元気？ 私も元気だわ。

しょっちゅう連絡もせず、ごめんね。この間日本で一緒に過ごした時間はとても楽しかったよ。私
が日本に行って来たのも、もう1年が過ぎたよね。あなたにも会いたいし、その時一緒に会った友
だちらにも会いたい。

ソウルはだいぶ涼しくなったの。東京はまだ暑いだろう？私は最近料理を学んでいる。私、来年、
結婚することになりそうだわ。驚いただろう？

旦那になる人は会社員なの。顔は不細工だわ。でも性格が私とよく合ってるような気がする。一
緒にいると心が落ち着く。次回会ったら紹介してあげるね。

秋に韓国へ来ると言っただろう？日にちは決まった？韓国語もだいぶ上手になっただろう。この間
の試験にも合格したと言っただろう？本当にあめでとう！あなたは何でも頑張ってるのがとても
見ていて嬉しいわ。今度会ったらもっとたくさん韓国語でお話しできたらいいと思う。

では、また会える時までお元気にしていてね。また連絡するよ。さようなら…。

ソウルよりユジョン

第6課 Step2 先生をご招待

ウォンジュン：先生、こんにちは。

先生：あら！ウォンジュン、久しぶり。元気だった？

ウォンジュン：はい、先生。来週の金曜日にお時間およろしいでしょうか。

先生：うん、いいよ。何かあるの？

ウォンジュン：来週、うちのクラスの忘年会に先生をご招待したくて…。

先生：そう？何時？

ウォンジュン：6時に学校前の韓定食の店でやります。僕がご案内しに参ります。

先生：分かった。一緒に行こう。

ウォンジュン：あ、そうだ！そして先生の研究室をお引越しなさるとき、僕がお手伝いしましょうか。

先生：いいよ。でも君は忙しいんじゃない？気にしないで。

ウォンジュン：大丈夫です。では、忘年会の時に目にかかります。

先生：そう、その時に会おうね。

ウォンジュン：さようなら。

先生：さようなら。

第7課 伝達

第7課 Step 1 新村(シンチョン)ですか？

ソウルに遊びに行って来た日本人の友達である山田さんに聞いた話しです。

ソウルに行った山田さんはショッピングしようとしてホテルの前でタクシーに乗ったそうです。タクシーの運転手さんに「シンチョン」に行ってもらいたいと言ったそうです。しばらくの間タクシーに乗って行ったが、道がちょっと違うようだったので、「おじさん、こちらシンチョンに行く道で合ってますか。違うようですが…」と言ったそうです。タクシーのおじさんは「新村(シンチョン:Shinchon)ですか、新川(シンチョン:Shincheon)ですか。」と友だちに尋ねたので、もう一度「シンチョンです。」と答えたそうです。

おじさんはタクシーを道の端側に停めて、紙を渡しながら書いてもらいたいと言ったそうです。友達はおじさんに「新村」と書いてあげたそうです。おじさんは聞き間違えて「新川」へ向かっていたそうです。友達はタクシーの料金もたくさん出たし、韓国語に対する自信もなくなって、本当に心が傷ついたと言っていました。

この話を聞いて、私は山田さんに「シンチョン(新川)」「シンチョン(新村)」「シチョン(市庁:市役所)」は発音が難しいので、タクシーに乗る際はタクシーの運転手さんに目的地を必ず書いて見せてあげるようにと言いました。

第 7 課 Step 2 お誕生日だと言われたんですが？

阿部：ソニさん、今日、お誕生日だと言われたんですが？あめでとうございます。

ソニ：ええ？ 今日、私の誕生日ではないんですが…。

阿部：はあ？ 裕子さんが今日ソニさんの誕生日だと言ってたので、お祝いに来たんですが。

ソニ：違います。私の誕生日は来月です。あ！私の誕生日は旧暦なんですが、裕子さんが新暦として勘違いしたようですね。

阿部：そうですか。誕生日も旧暦で祝う人がいますか。

ソニ：はい、韓国では誕生日も旧暦でやる人たちがいますよ。

阿部：ええ、ところがソニさんが紅茶好きだと言われて紅茶も買ってきたし、裕子さんが誕生日プレゼントも渡してもらいたいと言ってたのでこのように持ってきたんですが…。

ソニ：心配しないでください。今日そのまま私の誕生日にいたします。本当にありがとうございます。裕子さんにもありがたいと伝えてください。

阿部：ごめんなんさい。私たちのせいで早く年取ってしまったんですね。

ソニ：いいえ。韓国人は誕生日じゃなくお正月に年を取るんです。私が今日は時間がなく、週末におごりますね。裕子さんもぜひ来てもらうように伝えてください。

第 8 課 流行

第 8 課 Step 1 韓国の時代別の流行

韓国の 1980 年代はソウルオリンピックの影響でスポーツに関する国民の関心が高かった。オリンピック競技場とオリンピック公園を作り、韓国人の皆がスポーツに熱狂した。

1990年代は社会的に変化が多い時代であった。まず、中高生たちの制服がなくなり、学生たちは私服を着て学校に通った。有名ブランドのかばんと靴が学生たちに人気があった。それで誰でもほしがるものに「国民」という言葉が付きはじめたし、女性の芸能人にも「国民の妹」、「国民のお嫁さん」という言葉があだ名のように付いた。1990年代後半に携帯とインターネットが登場して、2000年には必需品になった。1998年には日本大衆文化の開放で韓国の映画館で日本の映画「ラブレター」が上映された。日本のアニメーション「隣のトトロ」と「ポケモン」も大きく流行したし、キャラクターグッズも多くの人気があった。

2000年代に入って日本、中国などに韓流の熱風が吹いてきた。韓国ドラマを通して吹き始めた韓流は韓国の食べ物や文化、そして K-POP へと続いた。強い男性より、か弱そうに見えるが筋肉のある「モムチャン」と、肌が白く顔もかわいい「コンミナム」たちが人気を集めながら、男性たちには「～チャン」、「～ナム」という新しい言葉がたくさん作られた。

第8課 Step 2 ママのコート

準一：シネさん、シネさんの名前は漢字でどのように書きますか。

シネ：私(の名前に)は漢字がありません。ハングルの名前です。私が生れた時には、ハヌル(空)、バダ(海)、ボラム(甲斐)、ハナ(一つ)… このようなハングルの名前が流行したんですって。

準一：日本も名前に流行りがありますが、韓国もそうですよね。ところで、シネさん、そのコート本当にお似合いですね。

シネ：あ、これですか？うちのお母さんが若かった時に着てたものです。私が着てみたら良さそうだったので、ママにちょうだいと言いました。

準一：流行は本当に回って回るものようですね。お母さんが着てたものを娘が着ますよね。

シネ：はい、うちのお母さんは物をなかなか捨てられないんです。それでママが着てた服をたくさんもらいました。今の私が着てもあまり流行に遅れていないようです。

準一：はい、素敵ですね。お母さんがおしゃれでいらっやいますね。もしそのコートをシネさんの娘さんが着ることになったら3代に渡って着るようになりますよね。

シネ：あら！そうなるかもしれませんね。

第9課 プレゼント

第9課 Step 1 お決まりのプレゼント

プレゼントを選ぶ時に何が良いのか分からなくて困る場合が多いです。このような時に決まったプレゼントがあったら気楽そうではないでしょうか。韓国ではこのようにお決まりのプレゼントがいくつかあります。

まず、引越し祝いのプレゼントとしては、引っ越した家でお金持ちになれという意味で、洗剤やトイレトイレットペーパーをプレゼントします。その他にも、赤ちゃんが生まれて100日になる日や、初めての誕生日である「ドル」になると、金の指輪をプレゼントします。なぜ赤ちゃんに金の指輪をプレゼントするのかご存知ですか。赤ちゃんの健康を祈願して、赤ちゃんが成長しながら経済的に困ったことができた時、価値が下がらない金は赤ちゃんに役に立つためであるそうです。

結婚式、還暦祝い、葬式には、現金を贈る人が多いです。友達や家族の結婚式には、生活に必要な電気製品や生活用品をプレゼントしたりもするが、包丁やハサミは縁を切るというプレゼントしません。そして風を起す扇風機やエアコンをプレゼントしたら、プレゼントを受け取った人の旦那さんが浮気をするといわれているし、彼氏や彼女に靴や履物をプレゼントしたら別れるという話があります。

財布をプレゼントする場合は、財布の中に紙幣を1枚入れてプレゼントすると財布を受け取った人にお金がうまく入ってくると言われています。皆さんの国でも、このように決まった贈り物があるか考えてみてください。

第9課 Step 2 誕生日プレゼント

田中：誕生日パーティーに行かれるんでしょう？私も招待されたんですよ。

ジユン：そうですか。では一緒に行きましょうか。

田中：それは良かったです。ところでプレゼントは用意されましたか。

ジユン：はい、私は文化商品券を準備しました。スヨンさんが演劇や映画が好きじゃないですか。

田中さんは。

田中：スヨンさんが何が好きだろうが分からなくて悩んでいます。

ジユン：ではお花はいかがですか。スヨンちゃんにお花をあげる彼氏もいないし。

田中：えっ？スヨンさんが誤解したらどうしますか。

ジユン：まさか、そんなはずがあるでしょうか。韓国では女性達に花をよくプレゼントします。女性達はお花が好きじゃないですか。

田中：では、そうしましょうか。何だかちょっと恥ずかしいんですけど……

ジヨン： ははは、田中さん可愛いですね。間違いなくスヨンさんも喜ぶと思います。

お花を持った男、田中さんも格好良さそうですね。

田中： からかわないでください。プレゼントを選ぶことは本当に難しいです。

ジヨン： これから女性にはとにかくお花をプレゼントしてください。楽じゃないですか。私の誕生日の時もお願いします。

第 10 課 記事

第 10 課 Step 1 多文化センター

韓国に移住して住んでいる(外国人)女性達のために先月 3 月に建てられたシオ区多文化センターでは、色々な多文化の品物と食べ物を用意してイベントを開いている。多文化センターの 1 階は展示館、2 階はレストラン、3 階は事務室及び相談室で、多文化女性達が直接運営している。

1 階の展示館には、多文化女性達が作った色々な国の工芸品を展示していて、2 階にあるレストランでは、多文化女性達が自分の国の食べ物を作って販売している。そこをよく訪れる住民は、「多文化女性達が社会活動に参加できるので良いと思います。そして食べ物もとても美味しかったですよ。」と言いながら、家族と一緒にしょっちゅうこちらを訪れると言っていた。

一方、区役所の関係者は、開館するや否や多くの人々が訪ねてきているここ多文化センターは、地域の住民達には他国の文化を紹介し、多文化の家族を理解することに役に立てると言っていた。そして、これからも多文化女性達に、気楽で温もりのある実家に来た気分を感じさせてあげるセンターの活性化のために、引き続き努力していくことを明らかにした。

第 10 課 Step 2 コンナム(イケメン)でいらっやいますね。

リポーター：今日は話題の映画『風』の主人公、イ・ヨンウさんとのインタビューです。最近のお気持ちはいかがですか？

俳優：はい、嬉しいです。夢を見ているようですね。

リポーター：今年、賞もたくさんお受け取りになりましたよね。こんなに多くの方々に喜ばれることをご存知でしたか。

俳優：いいえ、しかし皆頑張って作ったし、私も久々に撮った映画がうまくって本当に嬉しいです。

リポーター：演技のために努力されることはありますか？

俳優：色々ありますが、特に心構えですね。純粋な心構えで作品を見て演じようと努力しています。

リポーター：子供のような純粋な心でしょうか。本当に心までコンミナム(イケメン)でいらっしゃいますね。

俳優：え？久しぶりに聞いてみるお話しですね。私まだいけますか？

リポーター：もちろんです。素敵でいらっしゃいます。最後にファンの皆さんに一言お願いします。

俳優：今回の映画『風』をたくさん愛してくださって感謝いたします。これから、もっと良い映画で皆さんとお会いします。皆さん、お元気でいらっしゃってください。

第 11 課 音

第 11 課 Step 1 プレーメンの音楽隊

ある田舎の農場に年老いて元気のないロバが一匹いました。

持ち主は荷物を運べないロバを見て怒鳴りました。

「仕事もできないやつ！ 明日市場に行くついでに売ってやろう！！」

その話を聞いて、ロバは怖くなって逃げました。

「はあ。僕はこれからどこに行けばいいんだろう？」

「そうだ！プレーメンに行ったら音楽隊を作ろう。」

ロバはプレーメンに行く途中、道で犬に出会いました。

「狩りもできないと言い、持ち主が僕を追い出したよ。ワンワン！」

「じゃ、僕と一緒にプレーメンに行こう。」そして彼らは猫に出会いました。

「僕の飼主が僕に、年老いて鼠すら捕まえないから出ていけ。にやあにやあ！」

猫もプレーメンと一緒にいくことにしました。そして、泣いてる鶏に出会いました。

「どうして泣いてるの？」鶏は泣いていて話をするできませんでした。

「ああん、持ち主が僕を食べちゃうって。こけこっこーああん、こけこっこーああん。」

「もう泣かないで、僕たちと一緒にプレーメンに行ったら音楽隊を作ろう。」

「そうだ！僕は歌も上手だよ。聞いて見る？こけこっこー！」

夜になってお腹が空いた動物たちは小さな家を見つけました。

ところが、その家の中で泥棒たちが食べ物を食べていました。

「うわ～美味しそう。ぐうぐう～」

「僕たちがあの泥棒たちをやっつけてやろう。」

ロバの背中の上に犬が、そして犬の背中の上に猫が、猫の背中の上に鶏が上りました。

そして、みんなで一緒に大きな声で鳴きました。

「ワンワン、にゃあにゃあ、こけこっこー」

食べ物を食べていた泥棒たちは、変な声と窓際に映った大きな影を見てびっくりしました。

「ああ～、怪物だ！逃げよう！」

泥棒たちはびっくりして逃げて、動物たちは家の中に入り、美味しい食べ物を思う存分に食べました。

第 11 課 Step 2 自然の音

伊藤：昨日は、一日中雨が降り続いて憂鬱でした。

ミジョン：そうですか？私はしとしとと降る雨を見ながら音楽を聞いたら気分がよかったですけど、伊藤さんは憂鬱でしたか？

伊藤：ちょっとですね。ところで、昨日みたいな雨をボスルボスル(しとしと)降るって言いますか？

ミジョン：はい、そして夏の夕立はジュルクジュルク(ざあざあ)降るって言います。

伊藤：(なるほど) そうなんですね。

ミジョン：私は自然の音を聞くと心が和みます。それでヨガする時、自然の音を聞きながらやります。

伊藤：ジョルジョル(さらさらと)流れる水の音、ソルソル(そよそよと)吹く風の音、チェックチェック(ちゅんちゅん)鳥の鳴き声…、このようなものを聞くでしょうね。

ミジョン：あら！伊藤さん、よくご存じですね？授業時間に習いましたか？

伊藤：はい、ちょうど先週習いました。ところで、ミジョンさん、先からコルルック(ぐうぐう)お腹が鳴っていますか？

ミジョン：ハハハ、そうですか？では、私たちボグルボグル(ぐつぐつ)沸く味噌チゲでも食べにいきましようか？

伊藤：銀行の隣に新しくできた食堂が美味しかったんですが、そこ行きましようよ。

第 12 課 料理

第 12 課 Step 1 キムチ

キムチは韓国を代表する食べ物の一つで、韓国人の食卓の上にもいつも上ってくるおかずです。

「キムチ」といえば「辛い」と思われるけど、実はキムチが最初から辛かったわけではありません。最初は塩だけにつけたキムチを食べたそうです。

その後、水キムチが登場し、現在よく食べているキムチは朝鮮時代後期の時、唐辛子が韓国に入ってきた時から食べ始めました。

キムチは発酵食品で栄養がとても高い食べ物です。特に、キムチに入る唐辛子はビタミン C が豊富で、乳酸菌の発酵を手伝ってくれる(促進させる)ため、キムチをさらに栄養高くしてくれます。唐辛子だけではなく、ねぎ、にんにく、しょうがも、抗癌効果が高く、ダイエットにもよいそうです。

キムチの食べ方も様々です。キムチを炒めてキムチチャーハンを作るか、豚肉を入れてキムチチゲを作ったりもします。また、お酒のおつまみとして豆腐キムチやキムチチヂミを作ることができます。その他にビビンそうめんや冷麺を食べる時も、キムチと一緒にまぜて食べたら、より美味しく食べることができます。

このようにビタミンとミネラルが豊富なキムチを使って、今日の夕方の献立を立ててみるのはいかがでしょうか？

第 12 課 Step 2 朝食

ユンス：マキさんは韓国料理の作り方が分かりますか？

真紀：もちろんです。ナムルも作るし、鍋も作ることができます。

ユンス：うわ～、マキさんが韓国料理がそんなに上手だなんて知りませんでした。僕は、料理ができないので、母がいつもおかずを送ってくださいます。

真紀：羨ましいです。お母さんの手作り料理が美味しいですね。私は真似してるだけです。あまりおいしくありません。

ユンス：何をおっしゃるんですか。では朝も韓国料理を召し上がりますか？

真紀：いいえ、朝はパンで済ます時が多いです。

ユンス：はい。僕は、日本人が朝納豆を食べると聞いたので、何回か食べてみたんですが、美味しかったんですよ。最近は毎日食べます。

真紀：あら、ユンスさんが納豆好きであるとは思いませんでした。外国人は納豆が食べられない人が多いんですよ。

ユンス：そうですか？僕は食べ物に好き嫌いがありません。(何でも)全部よく食べるので、心配しないでください。

真紀：はい？？？

第 13 課 健康

第 13 課 Step 1 健康な暮らし

うちのおじいさんは今年 99 才です。年齢に比べ、とても健康でいらっしゃるほうです。おじいさんは毎朝 5 時に起きられ、散歩をなさいます。おじいさんが毎日こんなに早く起きられるせいで、うちの家族は朝寝坊をすることができません。しかし、そのおかげで私たちも規則的な生活ができると思います。

おじいさんはまた、食事も少なめに召し上がります。お腹いっぱい食べるのは身体によくないといつも言われます。おじいさんが健康でいらっしゃる理由はこんなこともあるでしょうが、私は何よりもおじいさんがいつも楽しい気持ちを持って勤勉に動かされているからであると思います。最近おじいさんは、友達らと週末の貸し農園へ通いながらサニーレタスやトマトなど、様々な野菜を育てることで毎日お忙しいです。土を触りながら畑で働くのが楽しいとおっしゃっています。それだけではなく、友達らと付き合うことがお好きなので、近い所へよく旅行にも行かれます。

私も年をとったらおじいさんのように健康で幸せに暮らしたいです。そうするためにはまず、おじいさんの生活習慣を見習ってこそ可能であるだろうと思います。今からでも朝早く起きること、小食すること、楽しく生活することなどを実践しなまかなさそうです。

第 13 課 Step 2 偏食する子ども

サンジュン：この頃、子どものことで心配です。体も弱くて食べ物にも好き嫌いが激しいんです。

ひろこ：偏食がひどいんですか。

サンジュン：はい、それで心配です。

ひろこ：うちの上の子も小さい時、野菜をあまり食べなくて、野菜は主に磨って料理しました。そして、たまにビタミン剤も飲ませました。

サンジュン：そうなんですね。それから子どもに運動もさせるんですか。

ひろこ：はい、最近はテクオンドをさせてるんです。

サンジュン：そうですか。私の妻もテクオンドをさせたくて探してみたんですが、近い所になんと言ったんです。

ひろこ：私たちも家の近くになくて調べてみたら、テクオンド(教室)のバスがうちのアパートまで来てた

んです。それで子ども一人で(そちらに)乗せてから送っているんです。

サンジュン: それはとても楽でしょうね。その電話番号をちょっと教えてもらえますか。

ひろこ: はい、うちの子どもと同じテクオンド(教室)に通わせるといいでしょうね。

第 14 課 外観と性格

第 14 課 Step 1 性格テスト

あなたは次の色の中でどんな色が好きですか? 好きな色を選んだ後、自分の性格について正しく書いてあるのか読んでみましょう。

黄色	黄色を選んだあなたは消極的な性格である反面、強い意志をもって努力する人です。普段は消極的ですが、決心すると人々が驚くほど積極的な姿を見せます。
緑色	緑色が好きなあなたはリーダーシップが強く、慎重な性格の人です。それに、行動力があり性格も良い方なので、周りの人たちに人気があります。
青色	青色を選んだあなたは芸術的なセンスを持っているので、絵画やファッション関係の仕事をするのがいいです。
赤色	赤色が好きなあなたはとても明るい性格で、辛いこともよく克服する強い人です。そしてアイデアもたくさん持っているので、創造的な仕事がよく似合います。
紫色	紫を選んだあなたは性格が明るい反面、一人であることが好きなロマンチックな人です。そして個性が強く、他の人が何と言っても自分の考えを変えない場合が多いです。

第 14 課 Step 2 好きなタイプ

スヨン: ハヤトさん、前回会ったユキさんのことですが。

隼人: はい、どうしたんですか。

スヨン: 最近、彼氏の話をしてないのを見ると彼氏と別れたようです。それで髪も短く切ったみたいです。

隼人: そうですか。知りませんでした。

スヨン: 周りに良い人がいたら、ちょっと紹介してあげてください。

隼人：そうですね…。どのようなタイプが好きなのが分からなくてですね。

スヨン：ユキさんは少し内気な人だから、ユーモアがあって、性格が明るい人が似合いそうです。

隼人：外見にうるさいですかね？

スヨン：外見はそんなに気にしないと思います。この間私に、男らしい人が好きだと言ってたんです。

そして優しいところがあったらもっと良いでしょう？

隼人：誰が良いかな……。友だちにそんな人がいそうだけど……。

スヨン：あら、お友だちが多いみたいですね。

隼人：はい、友だちは多いけど、あ、そうだ！高校の友だちを紹介すれば良いでしょうね。あいつが

司法試験の勉強をされていて女性との交際もしてないんですよ。

スヨン：そうですか。もしかして、そんなお友だちがまたいたら、私に紹介して下さっても良いのですが

…。

隼人：はい???

第 15 課 風習

第 15 課 Step 1 韓国の風習

《チュソク(お盆)》

チュソク(旧暦8月15日)は、正月の次に大きい節句である。この日は、秋に新しく収穫したお米と果物でご先祖様に法事を行う。そして、家族たちと一緒にお墓参りをするが、お墓参りをする前にお墓の草刈りをする。なぜなら、お墓に雑草が伸びたままにしておいてはいけないためである。またチュソクには、家族たちが集まり、新米でソンプジョンを作ったりもする。「ソンプジョンを綺麗に作るとかわいい娘を産む」という言い伝えもある。夜は満月を見ながら踊る「カンガンスウォレ」をして、その他にも相撲や綱引きなど色々な遊びをする。

《トル ザンチ(1歳の誕生祝い)》

赤ちゃんの初めての誕生日を「トル」という。この日は親戚や友達を招待し、トル祝いを盛大にして子どもの将来を祝福する。またこの時「トルジャビ(選び取り)」をするが、「トルジャビ」とは鉛筆や糸、お金などを置いて子どもに取らせ、子どもの将来を占う風習である。最近では時代の変化に伴い、芸能人を夢見るようにとマイクを置いたり、パソコンのマウスや野球ボールを置いたりもする。

《 ポクナル (日本の土用の丑の日) 》

毎年 7 月から 8 月の間の一番暑いこの時期をサムボク(三伏 ; チョボク(初伏)・チュンボク(中伏)・マルボク(末伏))と言い、この時の暑さを「サムボクドイ(三伏の暑さ)」と呼ぶ。ポクナルには暑さを乗り越え、健康を維持するために、参鶏湯(サムゲタン)など特別な料理を食べる。

第 15 課 Step 2 七夕

チョンス : あれは何ですか。

よしこ : 明日が七夕なので紙に願いごとを書いて木にかけておいたものです。私も子どものときに願

いごとを書いた覚えがありますね。そうだ ! 韓国にも七夕があるんですって ?

チョンス : はい。けれど、韓国は旧暦で 7 月 7 日だから普通 8 月になります。

よしこ : そうですか。では、韓国の人も牽牛と織姫の物語をみんな知っているでしょうね。

チョンス : もちろんです。童話によく出る話なので、知らない人はほとんどいないと思います。

よしこ : では、その日に韓国では何をしますか。

チョンス : そうですね。今思うと、その日にはよく雨が降っていた気がします。牽星と織姫が 1 年に 1 回会って泣くからなんですって。そうだ ! 昔はこの日にズッキーニでチヂミを作って食べたという話を聞いたことがあります。

よしこ : そうですか。おいしそうですね。

チョンス : では私たちも、明日友達を呼んで一緒に作って食べましょうか。

よしこ : いいですよ。楽しそうですね。

第 16 課 礼儀作法

第 16 課 Step 1 先生のお宅で

昨日、友達のヨンジュンが先生のお宅に一緒に行こうと誘った。最初は先生のお宅に行くのが負担になって断ろうとしたが、結局一緒に行った。なぜなら、韓国の人は目上の人に対して礼儀正しいという話を聞いたが、私は礼儀作法についてあまり知らないからである。しかし、ヨンジュンがいるので大丈夫だろうと思った。

先生のお宅に着いた私たちは、リビングでしばらく話し合った。私は正座をして座ったが、ヨンジュンは胡坐をかいて座っていたのだ。すると先生は私に、楽に座っていいとおっしゃった。

しばらくして奥様が、「お腹すいてらっしゃるでしょう。どうぞ召し上がってください。」とおっしゃった。食卓には冷たいビールとおいしそうな韓国料理が並べてあった。先生がお酒を注ごうとしたら、ヨンジュンが、「違います先生、僕がお先に注がなきゃですね」と言いながら、両手でビール瓶を持ってお酒を注いだ。もちろん、お酒をいただくときも両手でいただいた。そしてお酒を飲むときは、体を横に反らして飲んでいたのである。これはドラマで見たことがあると思った。

ところが、途中で先生が、お酒を飲みほしたグラスを私に渡されながら、「酒をもらうように」とおっしゃった。「使っていたグラスなのに…」と思いつつ、お断りしようとしてたが、ヨンジュンがいただくようにとサインをくれたのでいただいた。これだけではない。私が先生にお酒を注ごうとしたら、先生は残っていたお酒を急いで飲み干された。なるほど～！韓国ではグラスが空いたときにお酒を注ぐと聞いたような気がした。

昨日はとても緊張した一日だったが、韓国の文化を知れば知るほど日本と違って面白いと思う。

第 16 課 Step 2 韓国の生活

ヘジン：けんたろうさん、韓国での生活はいかがですか。韓国について私より詳しいんじゃないですか。

けんたろう：詳しいなんて。ある程度慣れましたが、やっぱり目上の人に対するマナーが難しいと思います。

ヘジン：この前、電車でおばあさんに席も譲ったとおっしゃったじゃないですか。

けんたろう：はい。最初は優先席とは知らず、そのまま座っていたんです。ところが、向かいの席に座っていたおじさんが立ち上がって、おばあさんに席を譲るのを見て気付きました。

ヘジン：そうしながら学ぶんですよ。普通若い人たちは優先席に座りませんからね。

けんたろう：ところで、この間学校で歓送会をしたんですが、その時、教授先生がタバコを吸われたので大丈夫だろうと思い、僕もタバコを吸ったんです。ところが、みんな僕を見ていたんです。僕がなにか間違えたんですか。

ヘジン：目上の人の前でタバコを吸ってはいけません。先生がタバコをお渡しになり、吸うようにと言われたら吸ってもいいでしょうが。それはお父さんの前でも同じです。

けんたろう：ええ？お父さんの前でもタバコを吸ってはいけないんですか。

第 17 課 描写

第 17 課 Step 1 田舎の風景

久しぶりに故郷の家に来た。小さい時から良く登っていた裏山へ行ってみた。お母さんが裏山にある松の話をよくされたので、まだ元気に育っているとは知ってたけど、実際に見たらとても嬉しかった。私はこの松に身体を寄せかけて座り、下を見下ろした。

山の下にはくねくねとする田舎道が見え、さらさら流れる小川も見える。子どもたちは汗をたらたら流して走り回り、おじいさんは木陰に座ってこっくりこっくりと居眠りをしていっしょやる。やっと歩き始めた子どもがお母さんの手を握ってよちよち歩く姿もとても可愛い。

道端にぱっと咲いているお花たちと、ひらひら飛び回る蝶々を見るととても心が安らぐ。日が沈む時、赤く染まった夕焼けも、美しく夜空にきらきら光る星たちも見ものである。

それに日差しがかんかんと照らされる真夏にも、涼しい日陰のおかげでそんなに暑いとも思わず、雪がこんこんと降る冬の景色も素晴らしい。

次回またいつ来るか分からないけれど、ここだけは永遠に変わらないでほしい。

第 17 課 Step 2 リビングの様様替え

妻：今年の春はリビングも整理するがてら、雰囲気を少し変えたいです。

旦那：いい考えだね。僕は何によりソファをもう少しふかふかしたものに換えたいんだけど。

妻：そうですね。このソファは硬くて少し不便でしょう？そして青いカーテンも冷たく見えませんか？もう少し暖かい色に変えましょうか？

旦那：僕は変えなくてもいい気がするけど。それはあなたの好きなようにして。

妻：テーブルも大きすぎて場所をとるから窮屈に見えます。小さいテーブルに変えたら、リビングがもう少し広く見えそうです。

旦那：テーブルは大きいのが便利だろう。そこでたまに本も読んだりするから。

妻：それじゃ、テーブルはこのままにして、本棚を一つ買ってリビングにある本を整理すれば、もうちょっとすっきりと見えそうです。

旦那：本がちよっと多いことはあるね。

妻：壁紙はどうですか？最近壁紙もいいものがたくさんあったんです。

旦那：壁紙も変えるって？

妻：壁紙もパステルカラーに変えたら全体的にもうちちょっと柔らかく見えそうですよ。壁紙の張替えさえすれば、新しい家になりそうですね。

旦那：むしろ引っ越した方がいいだろう…。

第 18 課 相談

第 18 課 Step 1 子供が整理をしません。

Q：こんにちは、私は小学校 2 年生の男の子をもつ主婦です。子供が一人なのですべてのことを私が全部やってあげたら、学校に行っても全然整理をしません。学校から帰ってくるとかばんはもちろん、洋服も部屋に投げておきます。これだけではありません。食べ物を食べたら、いつもそのままだまにしておきます。お菓子の袋をゴミ箱に捨てるようにと言っても、言うことをよく聞きません。そうになったら私はずっと小言を言い、子供は聞きたがらないし、生活が毎日こうでございませぬ。子供のためにも整理する習慣を持たせたいんです。いい方法を教えてください。

A：お母様、こんにちは、

私も以前、同じ経験があるのでお母さんの悩みをよく分かるような気がします。大体の子供たちが整理をしたくても方法がよく分からなくて出来ない場合が多いです。ここはかばん、ここは洋服、このように物を置く場所を決めてみてください。そして子供が整理をしたら、たくさん褒めてあげてください。よくやったら褒めてあげると子供はもっと上手にやろうとするらしいです。そして子供が整理する習慣が付くまではお母さんが一緒に整理をしようと誘ってみてください。お母さんが整理するのを見ながら、子供も自然に整理する方法を学ぶことができるだろうと思います。

参考なさって、お役に立ったらいいと思います。

第 18 課 Step 2 主人の転勤

キョンスク：夫が 4 月から転勤することになりました。

ひろ：ではご家族たちも皆で一緒に行かれますか。

キョンスク：今、悩み中です。夫だけ送るべきなのか、それとも子供達も連れて皆で一緒に行くべきなのか…。

ひろ：転勤なさったら、どれほどいらっしゃるんですか。

キョンスク：それが分かりません。約1年なら夫一人で行ってもよさそうです。子供達の学校の問題もあるし。

ひろ：そうでしょうね。子供たちももうやっと学校に慣れたのに。

キョンスク：はい、友達もできて学校生活も面白がっているのに、転校すると言ったら嫌がるだろうと思います。

ひろ：キョンスクさんも仕事を辞めると、とてももったいないんじゃないありませんか。職場もいいのに…。

キョンスク：そうです。私も仕事を辞めたくないんです。

ひろ：では、ご主人が先に行っていって、状況を見てから決めたいませんか？

キョンスク：これもいい考えですね。約1年くらいは夫が先に行っていて、長くなりそうだったらその時に考え直さなきゃなりませんね。

ひろ：では、当分の間は週末夫婦になりそうですね。

キョンスク：はい、当分の間はおかずでも用意して持って行ってあげなきゃですね。

ひろ：本当にいい奥様ですね。

キョンスク：違います。夫が全然料理しないからです。今晚にでも夫にそのように言うべきですよ。

第19課 生活のなかの文化

第19課 Step 1 数字と文化

どの国でも、特定の数字がその国の文化を表すほどの深い関連性をもっている場合が多い。

韓国では特に100という数字が重要な意味をもつ。例えば、赤ちゃんが生まれて100日目になる日には「ベギルザンチ(百日祝い)」を開いて祝う。昔は赤ちゃんたちが100日を超えて生きることが容易ではなかったため、100日が無事に過ぎたら赤ちゃんがこれから健康に生きられると信じていた。また大学入試を準備する受験生のお母さんたちはお寺や教会で百日祈りを捧げたりもする。100日の間、ずっと祈りをしてこそ、その真心が天に伝わると考えた。もちろん、試験に合格するのは学生自身が勉強することによるけど、子供のための両親の切実な気持ちをうかがい知ることができる。

100以外に数字の3も韓国の生活文化と深い関連がある。3は完成と終結の意味を持っているので、「三日坊主」という言葉や「寺小屋の犬として3年経ったら花鳥風月を詠む」という諺があるほどである。また、会社の仕事や嫁ぎ先での暮らしが辛い時には「3年間だけ辛抱しろ」とアドバイスしたりもする。

このように数字で文化を理解できるのもかなり興味深いことである。

第 19 課 Step 2 結婚しようかと思っています。

ヒونس: ショウコさん、結婚するんですって? いつするんですか?

ショウコ: はい、今年の秋ごろに結婚式を挙げようかと思っています。

ヒونس: 本当におめでとうございます。式はどこで挙げますか。

ショウコ: 結婚式は韓国で挙げようかと思っているんですが、まだ分からないんです。

ヒونس: 韓国で挙げるなら結婚式の時呼んでください。この前の日本語サークルの友達たちも連れて行きます。

ショウコ: あ、はい。

ヒونس: それじゃ、結婚して韓国で旦那さんのご両親と一緒に暮らしますか。

ショウコ: いえ、夫のご両親と一緒に暮らすには私分からないことが多すぎて、一応、別々に暮らしたほうが良いのではないかと思うんです。

ヒونس: そうですか。

ショウコ: ところで、この前夫のお母様が、二人のグンハップ(宮合)が何かを見ると生年月日を尋ねられました。グンハップって何なんですか。

ヒونس: あ、グンハップですか。普通、結婚する前に、二人が仲良く暮らせるかを占うことです。

ショウコ: あら! よくなかったらどうしますか。

ヒونس: あまり気にしないでください。お二人はチャルトック・グンハップ(すごく相性がいいこと)ですから心配する必要はないでしょう。

ショウコ: ええ? チャルトック・グンハップって?

第 20 課 文学

第 20 課 Step 1 檀君(タングン)物語

昔々、天の国に神の息子ファンウンが住んでいました。ファンウンは辛く暮らしている人間を助けて、人間の世界に降りてきました。ファンウンは人間の世界に来る時、風の神様、雨の神様、雲の神様とともに 3000 人の家来を連れて降りてきました。

人間の世界に降りてきたファンウンは、人々に農業を営む方法、病気を治す方法など、生きていくのに必要なことをたくさん教えました。それで、人々は以前より暮らしやすくなりました。

そうしていたある日、熊一匹と虎一匹がファンウンを訪ねてきて、「ファンウン様！ 私たちも人間になりたいです。人間にならせてください。」と言いました。

それでファンウンは、「君たちが本当に人間になりたいのなら、ここのヨモギとニンニクをあげるから、真っ暗な洞窟の中で百日間これだけ食べながら暮しなさい。では、人間になるはずだ。」と言いました。

熊と虎は希望を持って、洞窟の中で暮らしましたが、思ったより辛かったです。結局虎は、途中で洞窟の中から出てきてしまいました。虎が出ていってしまったので熊はさらに寂しくて大変でしたが、じっと我慢して過ごしました。

100 日が過ぎてから、いよいよ女の人になった熊に、ファンウンはウンニョという名前を名付けました。ファンウンはウンニョと結婚をして息子を生まれました。この子供が紀元前 2333 年に古朝鮮を立てた檀君(タングン)です。

第 20 課 Step 2 幸せな時間

雨が降る夏の日、軒先から落ちる雨水が指の間をかすめる感触や、寒い冬、かちかちと凍った手を握ってくれた誰かの温もりが幸せであった。母の布団の中で横になり、母の匂いを嗅ぎながら、母の情愛深くて温かい声が聞こえる、静でこじんまりしている安らかさが幸せであった。落ち葉を拾って本の中に挟む自分を見て幸せだったし、友たちとキャッキョと笑いながら時間が経つのも忘れて語り合っていたあの若い時代が幸せであった。

今でも映画を見たら涙を流し、心ときめく自分がいて幸せである。家族みんなが集まって夕食を済まして語りあうこの平凡な今の時間も幸せである。皆が出かけた空き家で洗濯ひもにかかっている白い洗濯物を見ながらコーヒーを飲む、静で暇な時間がある、私は本当に幸せである。うちの子が初めて私に送った微笑みと、初めて呼んでくれた「お母さん」という言葉を聞いて、涙が出るほど幸せだったし、もう自分よりももっと大人になったその子が自分よりもずっと幸せでいてほしい。

遠い後日、年をとった私に、雪がひらひら降る日、子供のように笑いながら雪に降られる少女のような心が残っていてほしいし、たまに私を訪ねてくれて一緒に過ごした日々を記憶できる友達がいればいいと思う。他人の過ちも笑いながら許せる余裕があったら私はもっと幸せになりそうだ。私は大きな幸せを望まない。この些細な幸せが私の家族と友達らといつまでも共にいることを願うだけである。